

古着5^キと洋服1着交換 山形で市民団体

山形市の市民団体「ごみ減量・もったいないねット山形」と、リサイクル古着屋「ドンドンアップ」（本社盛岡市）が協力し、古着5^キを好きな洋服1着（900～2千円程度）と交換できるサービスを、山形市役所の1階ロビーで実験的に行った。ごみゼロの日の5月30日に実施、5時間あまりで50人を超える市民が、紙袋や風呂敷いっぱい、の衣類を持ち込んだ。

ドンドンアップによると、衣類のリサイクルは韓国で80%だが、日本ではまだ10%。同社商品部の高橋徹さん(38)は「日本では15着買って11着捨てていると言われる。日本の古着はまだまだ着ることができるから海外で人気が高く、売り物になる」と話す。

集められた古着は、マレーシアやネパール、アフリカに輸出され、衣類としてリユースされる。

